

みどりGIX新聞

「第2回みどりGIXセミナー」

～持続可能な食と農～のお知らせ

日本農業新聞は「第2回みどりGIXセミナー～持続可能な食と農」を令和6年2月7日に開催します。第2回目の今回は「学校給食」と「海外のGX事情」をテーマに取り上げます。有機農産物を使った学校給食に取り組む茨城県常陸大宮市の鈴木定幸市長をお招きし、JA常陸と連携し有機農業を推進し、持続可能な社会の実現を目指す思いについて伺います。またヨーロッパの有機農業や生物多様性の情勢にお詳しい東京大学大学院の香坂玲教授をお招きし、世界のGXの最新事情についてご講演いただきます。

どなたでも無料でご参加いただけます。どうぞ奮ってお申込みください。

令和6年

受講費
無料

2月7日 水

午後1時30分～4時00分

講演① 午後1時40分～午後2時30分

「子どもたちに最高の学校給食を～有機農業推進と持続可能な社会の実現へ」



茨城県常陸大宮市
鈴木 定幸 市長

茨城県北西部に位置する常陸大宮市は、「子どもたちに最高の学校給食を届けたい」との思いで、市内での有機農産物の生産を加速させています。令和5年11月5日には「オーガニックビレッジ宣言」を実施。管内のJA常陸とも連携し、令和9年度までに学校給食用の全ての米を有機米に切り替える目標を掲げています。

昨年12月には、茨城県環境負荷低減事業活

動の促進に関する基本計画に定められた特定区域である鷹巣地区において、有機栽培を行う農業者と慣行栽培の農業者同士が有機農業を促進するための栽培の管理に関する協定が、全国で初めて締結されました。

なぜ今、市を挙げて有機農業、有機学校給食を推進するのか。有機農業推進と持続可能な社会実現を目指す思いや今後の展望をお聞きます。

講演② 午後2時40分～午後3時30分

「世界の農業分野のサステナビリティ・GXの最新事情～有機農業で変わる食と暮らし」



香坂 玲 氏
(東京大学大学院
農学生命科学研究科教授)

世界は気候変動や地政学リスクなどの不確実性に直面しています。

生産性と経済性を維持しつつ、サステナビリティと倫理に配慮した生産活動の展開が求められています。

欧州では、有機農業の生産・流通・消費の各段

階で変化が見られ日本では食の安全保障と輸出が重要なテーマとなっていますが、海外の消費者の動向を見据えた議論が必要となります。セミナーではこれらの課題について事例を通じて掘り下げつつ、リスクと合わせてGXを巡るチャンスについても議論します。

開催

ZOOMによる配信

料金

無料

お申し込みいただいた方に、当日のZOOMへのアクセス方法についてメールでご案内します。

※PCやタブレットなどの端末とインターネット環境が必要です。



主催

株式会社日本農業新聞

問い合わせ デジタルイノベーション室
E-mail: dinv@agrinfo.co.jp

申し込み方法

こちらからお申し込みください。
(令和6年2月6日正午まで)

